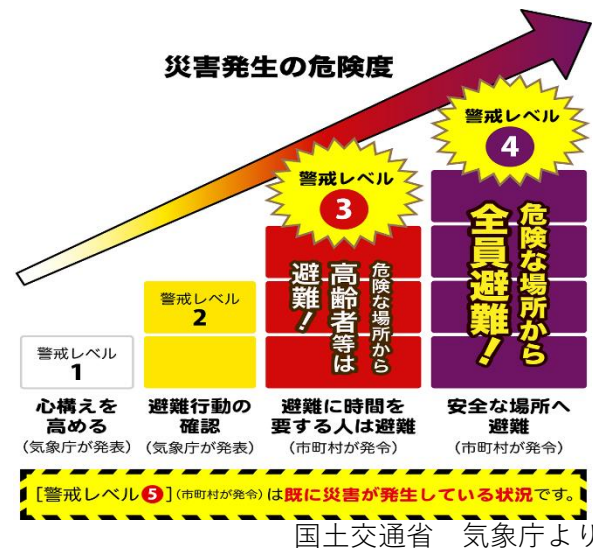


京都は2013年に桂川が氾濫し、京都以外の3府県に特別警報が出たことがありました。今後、山科川でも同じようになった時、警戒レベルがどれぐらいの時に逃げればよいかみんなに知らうため、水害時の避難のタイミングを紹介します。

警戒レベルがでたら・・・

- 警戒レベル1、災害への心構えを高める（気象庁が発表）
- 警戒レベル2、ハザードマップなどで避難行動を確認（気象庁が発表）
- 警戒レベル3、高齢者や要介護者等が危険な場所から避難（市町村が発令）
- 警戒レベル4、対象地域住民のうち危険な場所にいる人は全員避難（市町村が発令）
- 警戒レベル5、命を守るための最善の行動（市町村が発令） [国土交通省HPより](#)



やや強い雨	1時間に 10～20mm	☂	地面一面に水たまりができる
強い雨	1時間に 20～30mm	☂☂	傘をさしても濡れてしまう
激しい雨	1時間に 30～50mm	☂☂☂	道路が川ようになって車のブレーキがきかなくなる
非常に激しい雨	1時間に 50～80mm	☂☂☂ ☂	中小河川が氾濫する危険性がある
猛烈な雨	1時間に 80mm以上	☂☂☂ ☂☂	雨による大規模な災害が発生する恐れがあり嚴重な警戒が必要

建物の中にいるときは、垂直避難をする

災害が発生して身が危険にさらされる状況で、自宅などの上の階に避難することを垂直避難といいます。垂直避難をする時の注意点は土砂崩れなどが起きやすい場所には近づかないなどの注意をすることが必要です。避難途中に用水路などに転落して流されたケースもあるので無理して避難せず、垂直避難をしましょう！！



まとめ

警戒レベル2から、避難経路を確認し、警戒レベル3では、危険な場所から避難し、高齢者は避難所に移動、警戒レベル4になると、危険な場所から全員避難する！！